

難波地区タウンミーティングでいただいた意見等と市の回答

☆	項目	意見の内容	対応可能性と 対応時期	対応策または 不可能な理由等	担当課
1	地域資源	エヒメアヤメについて、だんだん減少しているのので、地域を固定して増殖したい。エヒメアヤメの減少の要因として、盗掘されるので、監視カメラ等の設置も検討してほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>エヒメアヤメは、自生南限地帯として国の天然記念物指定を受けており、指定地内部から外へ移植することは文化財保護の観点からできないことになっています。</p> <p>監視カメラについては、指定地近辺に電源がないことや、近隣にモニターの監視員を配置できないこと、面積が広く死角を無くすには膨大な数のカメラが必要となること等から設置は難しいと考えています。</p> <p>なお、開花時期の日中は、「下難波エヒメアヤメ保存会」の皆さんに見守っていただいていることに感謝しております。今後も松山市として、地域の宝「エヒメアヤメ」の保存に取り組んでいきますので、地域の皆さんもご協力をお願いします。</p>	文化財課 篠原 昭二 948-6603
2	子育て支援	幼児期の集団健診について、北条の保健センターを活用しないのか。また、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」について、継続支援をしてほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>現在、1歳6か月児健康診査と3歳児健康診査は、松山市保健所と保健センター南部分室の2会場で年間60回実施し、約4,300人（1回平均70名程度）が受診しています。そのうち、北条地区の方は、年間約200人（1回平均3名程度）です。</p> <p>北条分室で幼児健康診査を実施することについては、小児科医師や歯科医師の確保が非常に困難で、松山市全域で実施回数を増やすことは難しい状況であることや、分室に歯科健診室の整備が必要で歯科診療台の設置等に</p>	健康づくり推進課 串部 美穂 911-1813

				<p>多額の経費を要するため、費用対効果の面から現状では難しいと考えています。今後、これらの問題に一定のめどが立ちましたら、改めて検討したいと思います。</p> <p>また、こんにちは赤ちゃん訪問（乳児家庭全戸訪問事業）の後、保護者に育児不安や相談等がある場合は、地区の担当保健師が継続的に訪問等を行っていますので松山市保健所健康づくり推進課までご相談ください。</p>	
3	施設整備	<p>文化の森公園に子ども用トイレがほしい。また、トイレが暗いので、明るくしてほしい。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 可能</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 対応済</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 今年度中</p> <p><input type="checkbox"/> 次年度以降</p> <p><input type="checkbox"/> 検討中</p> <p><input type="checkbox"/> 不可能</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>文化の森公園のトイレは、男性用と女性用のトイレのほか、どなたでもご利用いただける多目的トイレが整備されています。</p> <p>ご要望の子どもトイレを新たに整備することは費用対効果の面から難しいため、多目的トイレに小児用補助便座等を設置します。</p> <p>なお、トイレの照度（明かり）については、現地を確認した結果、昼間でも薄暗く感じる場所がありましたので、照明の点灯時間を夜間のみから営業時間の常時点灯に変更しました。</p>	<p>公園緑地課 管 正人 948-6497</p>
4	防災	<p>高台に管理されていない個人の石垣があり、大雨また大地震で崩落し民家に被害が出た場合、行政の救済措置はあるのか。松山市内などで解決できたような事例があれば教えてほしい。</p>	<p><input type="checkbox"/> 可能</p> <p><input type="checkbox"/> 対応済</p> <p><input type="checkbox"/> 今年度中</p> <p><input type="checkbox"/> 次年度以降</p> <p><input type="checkbox"/> 検討中</p> <p><input type="checkbox"/> 不可能</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他</p>	<p>タウンミーティング終了後、発言者の方と河川水路課職員で現地確認を行いました。</p> <p>その際、石垣上の崖については、平成15年度に愛媛県の「急傾斜地崩壊対策事業」により対策済みであること、また崖下の石垣については、現状において崩落の危険や民家への影響は想定されにくいことを確認しました。</p> <p>なお、ご相談があった個人の石垣が崩落した場合の行政の救済措置については、原則的には個人と個人の話し合いで解決いただくこ</p>	<p>河川水路課 仙波 直樹 948-6838</p>

				とを説明しご理解をいただきましたが、公道等に影響がある場合などは松山市でも対応する必要がありますので、今後も個々のケースの現況や防災等の観点から適切に対応してまいります。	
5	防災	がけ崩れ防災対策事業の自己負担額について、所得に比例したスライド方式に改正してほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	7月28日に発言者の方とお会いし、「がけ崩れ防災対策事業」は、個人の生命・財産を守るための防災工事を個人で行うことが困難な場合に、県の補助を受けて市が行う事業で、その際の自己負担は、事業費の5%とできる限り軽減していることから、当面、この負担率を改定する予定はないことを説明し、ご理解いただきました。	河川水路課 仙波 直樹 948-6838
6	下水道	庄地区に下水道がいつ接続されるのか。整備計画はどうなっているのか。 また、下水道接続に時間がかかるのであれば、合併処理浄化槽の補助金制度について、説明してほしい。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	庄地区は、事業計画区域として公共下水道を整備する区域となっていますが、着手時期は、現時点では未定です。 このため、合併処理浄化槽の設置費補助については、庄地区全域が補助対象地域となっています。なお、浄化槽の大きさなどによって補助額に違いがあるなど制度について区長さんに説明し、地区内の皆さんにお知らせいただけるよう補助制度のパンフレットをお渡ししました。	下水道整備課 藤家 孝博 948-6544 環境指導課 松岡 利輝 948-6439
7	防災	デジタル防災行政無線について、中通第一集会所にある子局から中通河原集会所の子局を同時に放送できるように再検討してほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	デジタル防災行政無線を運用するには、総務省の無線局免許状が必要となりますが、子局同士の通信については免許を取得することができないことから、子局から無線通信により他の子局を同時放送することはできません。 なお、今までどおりの地区内同時放送が可	危機管理担当部長付 中津 優 948-6795

				能となるよう、既存の地区放送設備の継続利用も選択できるようにしています。	
8	地域活性化	風和里から鹿島に行く遊覧船の再開を考えてほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>現在、風和里周辺には、遊覧船が接岸する場所がないことから、航路を再開するには、浮棧橋の整備、新造船にかかる費用や新たな船員の配置、ランニングコスト等、多額の費用を要するほか、各関係機関との調整や許可申請などが必要となり、費用対効果などを考えると航路の再開は難しいと思います。</p> <p>今後、さらなる北条地域の活性化に向けて、現行の周遊船について新規ルートの開発などを検討したいと考えています。</p>	<p>観光・国際交流課 岡田 敏 948-6555</p>
9	市民サービス	市役所職員の名札について、顔写真を明るい笑顔の写真にしてほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>市役所の業務の中には死亡届や各種相談等、市民の皆様が辛いお気持ちで窓口に来られる場合があります、笑顔で対応することが相応しくないケースもありますので、名札では普通の表情の顔写真を使用し、実際の窓口においては、心のこもった接遇に努めています。</p>	<p>人事課 大澤 貴久 948-6220</p>